

長崎大学教育学部附属特別支援学校 学校だより (12月号)

# 青空いっぱい

発行責任者：校長 田中昭二

長 長所を伸ばそう  
大 大好きなことを見つけよう  
と ともだちとチャレンジしよう  
く ぐらす力をつけよう  
し しごとをする力をつけよう

## 2学期が終わりました

今日で2学期が終わりました。例年までと異なる状況の中で、子供たちは大きく体調を崩すことなく、元気に学校での生活を過ごすことができました。また、1学期は行事の中止や延期をせざるを得ない状況でしたが、2学期は、修学旅行や校外学習、高等部現場実習など、校外での学習活動もほぼ予定どおりに実施することができました。修学旅行は、県内での旅行となりましたが、「ふるさと長崎」を学ぶ良い機会になりました。文化祭は残念ながら中止しましたが、1学期から延期となっていた運動会では、子供たち一人一人が精一杯に競演技に取り組み、練習の成果を発揮することができました。高等部現場実習では、実習での取組を事後学習において振り返り、生徒一人一人が成果と課題を整理して報告会で発表しました。課題については、日々の生活の中で改善に向けて取り組むという強い決意が感じられました。

御家庭では、毎日の検温や健康観察などを継続していただいています。また、育友会では、九附連実践活動発表に向けて「コロナ禍での親子の取り組み」というテーマで、実践集録をまとめられました。手伝いや身の回りのことなどへの継続した取組、余暇の過ごし方、感染予防の取組、感染症に関する分かりやすく正しい理解など、私自身学ばせていただくことが多い内容でした。家庭や学校での取組によって、マスクの着用や手洗い・消毒、換気の徹底、密を避けるなどの新しい生活様式について、子供たちは理解し、慣れてきているように思います。

例年と異なる年末年始の過ごし方になると思われませんが、どうぞ良いお年をお迎えください。



## 加湿器を設置しました

気温が下がり、冷え込みが厳しい季節になりました。学校では、エアコンの使用と自動換気システムを併用するとともに、窓や扉を開けての換気をしています。外気が室内に入るため、室内の空気がより乾燥する状況にあります。空気が乾燥すると気道粘膜の防御機能が低下し、インフルエンザなどの感染症にもかかりやすくなるそうです。

そこで、加湿器の購入について、後援会会長様に御相談したところ、「子供たちの健康のためであれば」と、各学級に1台ずつ加湿器を購入していただきました。

会長様をはじめ、後援会の皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



「コロナ終息祈願  
アマビエ様」  
高等部制作

## 創立50周年を迎えます

来年、本校は創立50周年を迎えます。本校は、昭和46年4月1日に「長崎大学教育学部附属養護学校」として開校し、卒業生は413名を数えます。創立50周年にあたり、来年度に記念事業を計画しています。

そこで、11月27日(金)に企画委員会を実施しました。企画委員である後援会会長様、育友会会長様、副会長様、同窓会会長様、同人会(本校に勤務された教職員の会)会長様に御出席いただきました。委員会では、まず、学校から進捗状況の説明を行いました。

現在、進めている内容は以下のとおりです。

- ◇令和3年10月3日(日)に50周年記念文化祭を開催する。  
内容は、「オープニングセレモニー」「記念式典」「文化祭」とする。  
多くの関係者の皆さんに集まっていただくために、長崎大学中部講堂で開催する。
- ◇50周年記念誌、記念品(クリアファイル)を作成する。

学校からの説明を受けて、委員の皆様からは「記念式典とは別に植樹など校内に形として残るものを行ってどうか」、「会場に写真パネルを展示してはどうか」、「卒業生が読みやすいように記念誌にルビを振ってほしい」などの御意見をいただきました。

本校に縁のある皆様と一緒に「創立50周年」を心から祝えるように準備を進めてまいります。どうぞ御理解と御協力をお願いいたします。



昭和48年1月当時の本校